

意外な 当社製品を紹介します

本企画では、「この会社、こんなものも作っていたんだ！」
主力製品とは異なる分野、用途で活躍する意外な製品を紹介します。

株式会社 ダイドー

所在地：大阪府河内長野市上原町250-2

創業：1951年

資本金：3,000万円 従業員数：285名

主力製品：住宅建材製品、住宅設備機能製品、パブリック製品、
メカトロニクス、アシストスーツ など

住宅建材製品、住宅設備機能製品の設計・製作を行っています



創業から69年、スチール、アルミ、塗装、樹脂、木など様々な素材の複合商品を住宅業界を中心に設計提案、供給してきました。また弊社で培われたムービング機構設計は、システムキッチンの収納のみならず、公共施設のトイレなどで採用されており、幅広くその技術が商品という価値となり活用されています。創業から70年以降の当社は、超高齢社会における成長戦略として、ムービング機構技術をさらに進化させた、「Human Augmentation (ヒューマン・オグメンテーション:人間拡張) 技術」にチャレンジしていきます。その足掛かりとして、現在、Physical Augmentation (身体能力の拡張) のアシストスーツの製造販売に注力しています。

電力不要！ 上向き作業のアシストスーツ

TASK AR



住宅建材製品、住宅設備機能製品の製作を行う当社の意外な商品は上向き作業のアシストスーツ「TASK AR」です。TASK ARは天井ボードの施工など、長時間連続する腕上げ作業の負荷低減を目的としています。特徴は、ガススプリング方式を採用しており、電力が不要という点で、バッテリーやモーターが無いので、軽量・コンパクトな設計となっています。また、使用後の充電の手間がなく、使用時間の制限もないため、建設現場などでの使用ハードルの低さを実現しています。2020年5月には発売当初より多くの方から課題としてあげられていた「背部の引っ張り」を22cmから12cmとし、薄型化を実現。より汎用性の増したTASK AR 2.0は、住宅建設現場や土木現場、高所の配線工事現場、工場作業や農作業などでも活躍されることが期待されます。

TASK ARを手がけようと考えられた背景を教えてください。

成熟した住宅業界で永年にわたり当社が培ってきたモノづくりの強みを活かし、チャレンジできる分野がないか検討していました。先般、大阪府工業協会のロボット研究会でヒントを得て、アシストスーツの開発に着手しました。パートナー会社を模索している時に、EksoBionics社(USA)のEksoVestと出会いました。日本では下から上へ重量物を持ち上げる作業をサポートするのが主流でしたが、EksoVestは上向き作業をサポートするもので、発想の新しさと、可能性を感じました。また、電力を使用せず、スプリングで制御する設計が当社のムービング製品のコンセプトとも一致していました。同社と1年の交渉期間を経て、日本での製造・改良・販売権のライセンス契約を締結。日本人の体格や作業環境に合わせて改良を加え発売。多くの現場の作業改善にお役立ていただけると幸いです。



代表取締役社長
追田 尚幸 氏